

2018年度 芸術科「音楽Ⅱ」シラバス

科目	音楽Ⅱ	単 位	2	学年	2年	使用教科書 副教材	MOUSA 2 (教育芸術社) 高校生のための音楽研究ノート(教育芸術社)
----	-----	--------	---	----	----	--------------	--

1 科目の目標及び評価方法

科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
評価方法	定期考査・・・40%	実技テスト・・・40%	提出物・授業態度・発表点・その他等・・・20%

2 音楽Ⅱの評価の観点、規準

	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
観 点	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	楽曲の諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫し、表現の意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
規 準	楽曲の背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	旋律、強弱、リズム、速度など知覚・感受し、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	イメージをもって音楽表現するために、発声や発音、読譜、楽器の奏法などを身につけ創造的に表している。	楽曲の文化的歴史的背景、作曲者による表現の特徴、演奏者による表現の特徴を理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考 査 範 圍	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	主 な 教 材 曲	評 価 の 観 点				評 価 方 法	配 当 時 間	進 行
						①	②	③	④			
1	4	期 末 考 査	【歌唱】歌詞の内容を理解して、表情豊かに独唱曲を歌おう	①姿勢や発声に意識を向けるとともに、歌詞の内容を理解してイメージをもって歌う。 ②歌と伴奏それぞれの役割をよく理解して表現に生かす。	「Ave Maria」 「Nel cor piu non mi sento」	○	○	○		a b c	4	
	5		【鑑賞】ラテンアメリカの音楽について知ろう	①ラテンアメリカの音楽固有の特徴について理解を深めながら楽しんで鑑賞する。	「サンバ」 「ボサノヴァ」 「マンボ」など	○			○	a c	4	
	6		【器楽】ボディーパーカッションやリズム創作をしよう	①リズムの読譜や記譜に関心を持ち音楽表現に生かす。 ②音素材の構成に関心を持ち、イメージをもって創造的かつ主体的にリズム創作に取り組む。	「プレデュード1」	○	○	○		a d	6	
	7		【鑑賞】クラシック音楽を味わおう①	①シベリウスの曲のもつ雰囲気を感じ取りながら、彼が生きた時代背景を踏まえて、作品に込められている祖国への思いも感じ取れるようになる。	「フィンランディア」	○			○	a c	6	
2	9	期 末 考 査	【器楽】ギターの弾き歌いに挑戦しよう	①ギターの奏法と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 ②基本的な奏法、タブ譜、コード譜を習得する。	「糸」 「夢の中へ」 「いとしのクレメンタイン」	○	○	○		a b d	8	
	10		【鑑賞】西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう	①楽曲の文化的・歴史的背景や楽曲分析などから、楽曲の表現の特徴を理解するとともに、批判活動を通して主体的に鑑賞する。	「レクイエム」	○			○	a d	7	
	11		【歌唱】コーラスで美しい響きを追求しよう	①各声部の役割や声部間のバランスを理解するとともに楽曲にふさわしい表現やよりよい響きを習得し、アンサンブルを楽しむ。	「Hey 和」	○	○	○		a c	10	
	12		【鑑賞】オペラやミュージカルを楽しもう	①オペラとミュージカルの表現形態の特徴を理解して、舞台作品を歌う喜びや鑑賞する楽しさを味わう。	オペラ「道化師」 ミュージカル「ウェストサイド物語」	○			○	a d	6	
3	1	学 年 末	【創作】メロディーの創作と変奏や編曲に挑戦しよう。	①変奏や編曲に挑戦して表現の工夫の幅を広げる。 ②長調、短調の音階の特徴、旋律にふさわしい音の組み合わせ、つくった旋律にコードなどを作る。	モチーフを生かしてメロディを作ろう 「自作曲」	○	○	○		a c	15	
	3		【歌唱】音楽の世界を広げよう	①我が国も含めた世界の諸民族の声、楽器、身振りによる表現の特徴を理解し、音楽の多様性について理解を深める。	世界の諸民族の音楽 日本（演歌など）	○			○	a c	4	

《評価方法》 a. 授業に対する意欲／b. 学習ノート／c. ワークシート・自己評価表・相互評価表 /d. 実技テスト・定期考査